

町長	副町長	課長	主幹	担当	合議

別記様式第4号

会議等結果報告書			
会議区分	会議 ・ 打合せ ・ 協議	文書番号	
		決裁期日	平成26年3月7日
名称	平成25年度 第1回農業振興審議会		
日時	平成26年3月7日(金) 13:30~15:45		
場所	役場3階 第2会議室		
出席者	<p>町農業委員会 中瀬 実、ふらの農業協同組合副組合長 川上幸夫、 // 上富支所女性部長 沼沢春美、// 酪農部会上富支部副部長 林 昭博、 農民連盟 田村秀明、農用地利用改善組合連絡協議会 岡和田一廣、 上富良野消費者協会会長 島瀬良一、富良野土地改良区理事 上田修一、 富良野地区農業共済組合理事 岡和田 淳 (欠席委員 富良野地区森林組合 松藤良則) 向山町長、産業振興課 辻課長、北川主査</p>		
内容	<p>審議会開催に先立ち、選任された委員に辞令書を交付(欠席 松藤委員) 向山町長挨拶のあと、辻課長から会長選任方法について事務局提案を委員に回ったところ、異議なしの声あり会長に中瀬委員、副会長に川上委員を提案、出席委員の承認を得て選任した。 中瀬会長挨拶の後、町長より第7次上富良野町農業振興計画案について審議会会長へ諮問し議事に入る。</p> <p>議題</p> <p>1 第7次上富良野町農業振興計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辻課長より(案)について、別添資料に基づき説明 ・ 各委員より <p>「今後5年間の計画であるので、時間が限られているがあらゆる面を検討しなければならない。また、人口や面積などのデータが平成22年であるが、直近の新しい数字を提示すべき。」</p> <p>「現在 TPP 協定参加の交渉中で今後どうなっていくのか不確定の時期に5年間の計画を立てるのは難しい。状況によっては変更することも視野に入れる必要があるのでは。」</p>		

<p style="text-align: center;">内 容</p>	<p>「グリーンツーリズムや 6 次産業化の取り組みもあるが、具体的にはどういった活動か。生産を中心に長年農業を行ってきた者には難しいのではないか。」</p> <p>「コントラクター、TMRセンターとは何か」</p> <p>「担い手の育成・確保で女性の参画があるが、農業委員やJA役員の登用のため推薦をしたくても肝心の女性の活動が停滞している。役員など避け不参加や団体からの脱退がある。原因として夫の理解不足があるが、家族経営協定で女性も経営者となり役割分担することで意識を持つよう働きかけになるとよいが。」</p> <p>「家族経営協定とはどのようなものか。」</p> <p>「地産地消は上富良野町の農産物や加工品がどこで買えるのか知らない町民が多い。以前あった朝市は町民に周知され根付いていたが、軽トラ市や直売所のPRが少なく、町民に周知がされてない。」</p> <p>・辻課長</p> <p>データについては直近の農業センサスを採用しており、回収率の高いセンサスの確証ある数字を掲載した。センサス以外に確証のあるデータがつかめれば掲載したい。</p> <p>グリーンツーリズムは農村生活や農業の体験、農家レストランなどの利用者を農業者が受け入れを行う。また 6 次産業化は加工や販売を行う事業者と共同で行う農業者もあり、全てを生産者のみで行わなくても実施している農業者がいる。</p> <p>コントラクターは刈取など作業を請け負う。TMRセンターは家畜飼料などを製造販売まで行うことで、高齢化などで人手不足による労働力を補うことができる。</p> <p>家族経営協定は一時期、事業の為に締結したことも見受けられるが、農業者の家族が役割分担や給料について話し合い締結することで、経営にかかわる意識を持つことにつながるのではないか。</p> <p>軽トラ市から常設の直売所の計画もあり、PRの必要性がある。</p> <p>諮問の時期については遅くなり申し訳ない。持ち帰り検討意見を 19 日までに提出いただき、次回は意見を検討、意見がまとまれば答申、再度検討の場合は、事務局修正のうえ会長一任により答申願いたい。</p> <p>次回日程は 3 月 24 日午前 10 時より開催を予定しているので、参集願いたい。</p> <p>以上の意見交換の後、閉会となった。</p>
--	--